

取組3 芸術・文化・生涯学習の推進

取組の評価 2.6 一部に改善を要する

＜取組3の基本方針＞

- 1 芸術・文化・学習機会の提供
- 2 市民の主体的な活動の推進
- 3 図書館機能の充実
- 4 読書の推進
- 5 郷土の歴史・文化の伝承と偉人の顕彰

【取組の目的】 市民の主体的な生涯学習活動を支援するとともに、多彩な生涯学習活動の機会を提供し、芸術・文化・学習活動を推進します。

『取組』に係る社会の動向と本市の現状

1 社会の動向

- ◎ 価値観や生活様式の多様化が進む現代社会においては、科学技術や情報技術などが私たちの予想を超える速度で発達しており、また、環境問題や国際化の進展など、私たちが取り組まなければならない新しい課題が、日々生まれている。
こうした社会の変化に対応し、豊かで潤いのある社会生活を営むためには、生きるために必要な基礎的な力を身につけるだけでなく、生涯にわたって常に新しい知識を身に付け、自分を磨いていくことが求められている。
- ◎ 芸術や文化、生涯学習は、私たちの生活にうおいや生きがいを与えるものでもあり、子どもから年配者まで様々な年代の心ゆたかな市民が活躍することで、さらに魅力あふれるいきいきとしたまちが生まれ出されていく。

2 本市の現状（主な取組）

- ◎ 袋井市では、公民館運営や活動、各種イベントの実施等により、多くの市民の間に「生涯学習」の考え方が浸透し、まちづくりやスポーツなど、各種の学習活動に市民が自主的に取り組んでいる。
- ◎ 市民憲章や総合計画を踏まえ、まちづくりの総合的な見地に立って袋井市における生涯学習推進の基本的な方針を示した「袋井市生涯学習推進大綱」を、平成19年度に作成。大綱に沿って生涯学習を推進している。
- ◎ 平成24年度は、歴史文化館で市民を対象として「初級・中級古文書講座」を実施するなど、公民館などとともに、生涯学習の拠点として、市民に様々な学習の場を提供した。

『取組指標』の分析と評価結果

1 取組指標の評価 【※ 実績値は、各年度末における最新数値】 評価結果の平均値 (A) 1.7

＜評価基準＞ 4：達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 ≥ 0% 3：達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 < 0% 2：達成率 < 100%・前年比伸び率 ≥ 0% 1：達成率 < 100%・前年比伸び率 < 0%

番号	指標名	項目	現状値(計画)	H22	H23	H24	H25	H26	H27
1	公民館・中央公民館・月見の里学遊館の利用者数【人】	目標値	-	506,500	506,500	507,500	508,000	509,000	510,000
		実績値	504,838	472,453	456,266	466,808			
		達成率 伸び率	- -	93.2 ▲6.4	90.0 ▲3.4	91.9 2.3			
		評価	-	1	1	2			
2	生涯学習活動のリーダー数【人】	目標値	-	279	279	290	290	300	300
		実績値	267	279	279	269			
		達成率 伸び率	- -	100.0 4.4	100.0 0.0	92.7 ▲3.5			
		評価	-	4	2	1			
3	図書館における図書貸出冊数【冊】	目標値	-	460,000	530,000	550,000	600,000	650,000	712,200
		実績値	510,827	513,158	531,964	538,838			
		達成率 伸び率	- -	111.5 0.4	100.3 3.6	97.9 1.2			
		評価	-	4	4	2			
4		目標値	-						
		実績値							
		達成率 伸び率	- -						
		評価	-						

【指標に影響を与えた主な要因】
 ◎ 月見の里学遊館は、指定管理者の変更に伴い、年度当初の事業の遅れのため利用者減となっているが、市民ニーズにあった企画運営をしている。また、各公民館については、利用者増となっているが、高齢化等により所属サークルやクラブが減少傾向にある。全体として目標値に至っていない。
 ◎ 生涯学習活動リーダーが、高齢化や利用の有無等により登録をやめる方がでてきている。

2 指標で表すことが困難な成果

- ◎ 市役所2階の市民ギャラリーや北分庁舎内「ギャラリーきんもくせい」などで、作品展示・活動紹介を希望する個人や団体が増えていることから、市民の文化活動・芸術活動の気運が年々高まっていることが伺える。
- ◎ 袋井市文化協会では、継続した文化芸術活動を行う中、「袋井むかし話の会」が昔話と曲（楽譜）を集めた冊子を発行し、市内の小中学校、図書館、公民館などに配布するなど、積極的な取り組みを行っている。
- ◎ 平成24年度は、市役所市民ギャラリーや澤野医院記念館で郷土の偉人パネル展などを行った。また、郷土の生い立ちを知ろうとする市民の気運が高まってきている。

『主要事業』に係る事業評価表の評価結果

1 主要事業の評価

番号	主要事業名	H24事業費【千円】	事業評価表の評価結果		
			有効性	効率性	廃止の影響
1	地域ふれあい大学開催事業	371	3	3	4
2	人材リスト発行事業	139	3	3	3
3	公民館運営事業	89,023	4	3	4
4	公民館学級リーダー研修事業	30	3	3	2
5	特色ある公民館づくり補助事業	1,096	3	3	3
6	文化芸術に関する大会等出場激励事業	440	3	3	2
7	彫刻のあるまちづくり事業	3,270	3	3	3
8	市民文化活動補助事業	6,500	3	3	3
9	月見の里学遊館運営事業	118,015	4	4	2
10	外国人留学生助成事業	1,230	3	3	3
11	公開講座等開催助成事業	260	3	3	3
12	(静岡理科大学)市民体験入学開催事業助成事業	500	4	4	4
13	公開シンポジウム開催事業助成事業	200	3	3	3
14	澤野医院記念館公開事業	3,275	4	4	4
15	久野城址保存会運営補助事業	100	4	4	3
16	郷土資料館運営事業	6,147	3	3	4
17	歴史文化館運営事業	5,801	3	3	3
18	図書館運営事業(袋井図書館+浅羽図書館+月見の里分室)	18,612	4	4	4
19	図書館蔵書充実事業(袋井図書館+浅羽図書館+月見の里分室)	24,874	4	4	4
20	ブックスタート事業	1,349	4	4	4
21	平和行政推進事業	200	3	2	3
22					
23					
24					
25					
評価結果の平均値 (B)		3.3	3.4	3.3	3.2

『 取 組 』 の 有 効 性 ・ 必 要 性 ・ 緊 急 性 の 評 価 結 果

1 取組の有効性等の評価 評価結果の平均値 (C) 2.7

番号	評価項目	H22	H23	H24	H25	H26	H27	コメント欄
1	有効性 4. 想定どおりの成果 3. 概ね想定どおりの成果 2. 一定の成果 1. 想定した成果なし	4	4	4				◎ 図書館や公民館などは、芸術・文化・生涯学習活動の推進において、市民が自ら学ぶ機会を提供する場であり、その整備・内容の充実は有効性があるといえる。 ◎ 各種の文化活動への補助等は地域で活動する人材が育つ機会の提供として有効である。
2	必要性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	4	3	3				◎ 様々な文化・芸術活動、生涯学習の機会を市民に提供することは、いきいきとした市民とまちをつくる上で必要不可欠である。 ◎ 各種文化活動への関わりや、質の高い文化・芸術に触れることは、市民一人ひとり心を豊かにし、生活の充実や地域社会の活力の向上にも繋がる。
3	緊急性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	3	1	1				◎ 文化・芸術・生涯学習の推進に向けた取組は、すぐに効果が確認できるものは少なく、中長期的に次第にその効果が上がってくるものであり、高い緊急性が求められるものではないが、継続した取組が求められる。

『 取 組 』 の 総 合 評 価 と 今 後 の 展 開 方 向

1 総合評価 <評価基準> 4～3.6:順調 3.5～3:概ね順調 2.9～2:一部に改善を要する 1.9～1:全体的に改善を要する

取組の評価			コメント欄
2.6	一部に改善を要する		◎ 芸術・文化・生涯学習の推進においては、多くの市民に学習・体験の場を提供することで、市民生活が充実した潤いのあるものとなる。各種講座の開催や質の高いプログラムの提供に加え、市民が主体的に行う生涯学習活動への支援も充実させていきたい。 ◎ 評価のために指標を設定しているが、数値の増減のみにとらわれることなく、長期の視点で継続した事業展開をしていきたい。
各評価結果の平均値			◎ 図書館に関しては、市の図書館サービスの全体像と今後の計画を描いた上で、中央図書館構想の具体化を進め、長期的な視点からのサービスの向上を図っていく必要がある。生涯学習の拠点として、図書・雑誌・視聴覚資料など多様な情報と読書環境の提供を行う必要がある。
取組指標の評価結果 (A)	主要事業の評価結果 (B)	有効性等の評価結果 (C)	◎ 芸術・文化・生涯学習の推進の観点から、その分野をけん引する地域のリーダーの掘り起こし、育成にも力を入れていきたい。
1.7	3.3	2.7	

2 取組の基本方針別 今後の展開方向 <展開方向> 拡充(順調) 拡充(改善必要) 継続推進 縮小

番号	取組の基本方針	H22	H23	H24	H25	H26	H27	今後の展開方向
1	芸術・文化・学習機会の提供	継続推進	継続推進	継続推進				芸術・文化・生涯学習活動への入り口は、自分が興味を持てること、知りたい・関わりたいと思えることと出会うことである。各種講座や講演の開催などにより、興味や学びのきっかけとなる機会を、引き続き市民に幅広く提供していく。
2	市民の主体的な活動の推進	継続推進	継続推進	継続推進				市民の文化意識の向上を図るとともに、多様な文化活動を支援し、文化振興の発展や地域の教育力の向上を実現するために、今後も行政による一定の支援を続けていく。
3	図書館機能の充実	継続推進	継続推進	継続推進				市における知の拠点として、蔵書の充実はもとより、高度化・多様化する情報社会(電子書籍やインターネット等)への対応などを引き続き進めるとともに、中央図書館構想の策定を進め、利用しやすい図書館環境の構築を進めていく。
4	読書の推進	継続推進	継続推進	継続推進				読書は習慣であり、習慣は意識付けにより改善することが出来る。ボランティアとの連携を取りながら、子ども読書活動推進事業やブックスタート事業などを効果的に継続することにより、読書習慣の形成を促進させていく。また、大人の読書習慣定着についても検討したい。
5	郷土の歴史・文化の伝承と偉人の顕彰	継続推進	継続推進	継続推進				協働まちづくり事業などを活用した、市民自身による「浅羽佐喜太郎」や「名倉太郎馬」といった郷土の偉人・歴史の顕彰の気運が高まってきていることから、新たな掘り起こしも含め、今後も引き続き推進していく。
6								

【その他留意事項】